



社会新報 (岡山県連合版)

2014年8月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
Tel.03-3592-7515 1部180円月700円千180

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail : sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

「党再建待ったなし!!」

5月12・13日 庄原

社民党中国ブロック活動交流会

社民党中国ブロック協議会(議長・足立島根県議)は、7月12・13日の2日間、岡山県庄原市で「活動交流会」を開いた。岡山県連合からも福島代表・武本幹事長や初参加の宮原常幹など7名が参加。冒頭挨拶に立った足立議長

平和と民主主義の危機 社民党の存在意義とは

1日目の各県報告は岡山から宮田・高梁市議が「産廃処分場建設反対運動」を報告。島根からは「平和運動などを通じ自治労との良好な関係がつけられてきた」と、旧来の支持層への広がりなど勇気の



吉田党首と対話集会

9月6日来岡

たまたまGWA「岡山岡山県民と直接対話します。多くの皆さんの参加を!」詳細は別途ご案内!

は「戦後日本が培ってきた平和と民主主義が危機を迎えるなか、社民党の存在意義が問われる」「統一自治体選挙、その後の国政選挙にむけ党勢拡大への意思統一を」と述べ、各党員の決起を促した。

出る報告があった。岡山・武本幹事長も「岡山市議選に向け全党員の意思統一の重要性」について提起。続く「夕食懇談会」では、若い党員拡大に先進県埼玉の「社民ユース」

暑い夏 非核・反原発 さらさら島根原発大集会・原水禁平和行進と続く

「さようなら島根原発大集会」が7月20日、松江市で開催(同実行委)。中国5県から4100人、岡山からもバス2台80人が参加した。同集会では神田香織(講師)・鎌田憲(ルポライター)らが発言。神田さんは「本来『ウソ』を職業としてついで良いのは私たち講師だけ」「今の日本は総理大臣が平気でウソをつくから、我々講師が真実を語らないといけない。まさにアベコベだ」と安倍首相の原発政策を糾弾し、会場を沸かせた。

集会後、2コースに別かれてデモ行進「原発再稼働反対」

の活動に学ぶ意見も出された。2日目は全国連合・中川組識局長が「国政の現状と課題」と題し講演。そのなかで「大飯原発稼働差し止め訴訟」や「厚木基地爆音訴訟」の原告勝訴判決を例に、「安倍政権の暴走は司法の右傾化の上をいつている」と厳しく批判。その後の意見交換では、「党としての税制や福祉で自治体運営モデルを作りアップし」「していくなどの貴重な意見も。今後、統一自治体選挙まで残された時間は多くはないが社民党岡山県連合としても早急に、「闘争」「闘争」を体制づくり、党員の意識結集が急務である。

被爆69周年 原水禁岡山平和行進

原水禁岡山県民会議は7月21日、同市民会議と共催で「非核平和行進」を行い大供公園から西ふれあいセンター約10kmを行進、岡山地区労



上:さようなら島根原発大集会 20日 下:原水禁岡山平和行進 21日



県連合活動日誌 (主な7月活動と8月計画)	
7/12-13	党中国ブロック活動交流会(庄原)
7/16	井原支部会議・武本幹事長参加(井原)
7/18	4区支部連合会議・武本幹事長参加(倉敷)
7/20	島根原発再稼働反対集会(松江)
7/21	原水禁平和行進(岡山~妹尾)
7/22	1・2区支部党員会議・福島代表参加
7/23	党県連合定期街宣(岡山)
// 「戦争をさせない1000人委員会岡山」結成	
7/27	平和センター平和行進(笠岡~福山)
8/1	組織機関紙会議
8/4-5	原水禁世界大会・広島大会(10名)
8/9	Am第3回常任幹事会
// PM「戦争をさせない1000人委員会岡山」出発集会 13:30国際講習センター	

赤磐市の藤田前代表の行動に賛同してかこんなところにも看板が

国労岡山・JR西労など多くの労組から50名を超え参加。「全ての核兵器廃絶」「原発再稼働反対」「安倍内閣は国民の命を守れ」などシュプレヒコール。心配された猛暑の中、元気に歩き通した。行進はこの後、7月27日に笠岡から大門(福山市)を行進、原水禁広島に引き継がれる。



「向」とも怒りを押さえ切れぬ。突然、歩道を暴走して通行人をなぎ倒したり、道路を逆走する意識もうろうの車。「脱法ドラッグ」という名の麻薬が店先で堂々と売られ、人の命より「儲ける自由」が保証される▼「号泣会見」はさらに気分が変になりそう。議員の政治活動費の使途は、制度的には「違法性はない」とされる。それでも市民感覚からは明らかな「脱法行為」だ。最も責任が問われるべき兵庫県議会が「本人辞職」で幕引きを図るなら政治不信を極める▼一人ひとりが考えることを止め、ヘイトスピーチなどが大手を振ったり、耳ざわりの良い言葉だけの政治や社会は、なにやら民主主義や自由を否定する危険がある▼最大の「自由のはきちがえ」は、「最高責任者は私だ」という「解釈改憲」の閣議決定だ。「自分の時代には戦争をするのではないだろう」という「神話」を決めるのは自分ではない▼いやおうなく「こんなはずではなかった」と振り返るまえに、いまでできることを考え、はじめよう。(の)

「新報」読者会

8月12日(第2火) 18時

「100問」時事問題懇話会

8月22日(第3金) 18時

※社民党県連合会議室